

令和２年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の成果

番号	事業完了日	部 署	事 業 名	実績				事業概要
				a 事業費	b 特 財	c 地方創生臨時 交付金 (充当額)	d 一財 a-b-c	
1	3/31	健康づくり課	新型コロナウイルス感染症防止対策事業	10,000	563	370	9,067	感染症の感染拡大防止のためのマスク、手袋、ポリ袋、消毒用アルコール等の消毒用消耗品を購入したほか、避難所の備蓄品としての消毒関連消耗品や、段ボールベッド、新型コロナ対策用パーテーション、ワンタッチテント等を購入した。また、差別防止宣言ポスターを印刷し、啓発を行った。これらにの実施により、感染防止をすることができた。 需要費：8,439千円、備品購入費：1,561千円 (特定財源) 学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策のためのマスク等購入支援事業）
2	11/25	企画課	休業等要請協力支援金給付事業	31,673	0	31,673	0	市内に事業所を有し、北海道が実施する休業等の要請に応じて「北海道休業協力・感染リスク低減支援金」の支給決定を受けた市内事業者に、市独自に一律10万円を上乗せ支給することにより、事業継続を支援することができた。 支援金：31,100千円（100千円×311事業所）、事務費：573千円（職員手当等409千円、需用費38千円、役務費126千円）
3	12/15	子育て応援課	児童扶養手当受給世帯への臨時特別給付金給付事業	10,500	6,568	3,932	0	市独自の施策として、児童扶養手当受給世帯350世帯（生活保護世帯、児童扶養手当全部停止世帯を除く）に1世帯あたり3万円を給付することにより、低所得の子育て世帯を支援することができた。 給付金：10,500千円（30千円×350世帯） (特定財源) 議員報酬及び特別職給与の減
4	3/31	総務課 情報推進係 ・ 議会事務局	W e b会議環境整備事業	15,261	0	15,261	0	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、リモートでの会議開催を行うことができるよう、Web会議開催に必要な環境を整備することにより、感染拡大を防ぐことができた。 ・ノートPC×3、スピーカーフォン×5、モニター×3 939千円 ・ノートPC×20、収納キャビネット×1、ヘッドセット×20、スピーカーフォン×5、モニター×3、回線増速費用ほか 4,894千円 ・委員会室リモート会議用ネットワーク環境構築委託業務 1,782千円 ・委員会室リモート会議用P C等 654千円 ・委員会室リモート会議用大型ディスプレイ等 593千円 ・委員会室リモート会議用スピーカーフォン等 239千円 ・委員会室リモート会議用音響設備工事 6,160千円 備品購入費：6,693千円、役務費：336千円、使用料及び賃借料：290千円、委託料：1,782千円、工事請負費：6,160千円
5	12/23	総務課 防災危機対策室	市内医療機関等に対する感染症防止対策事業	5,812	0	5,812	0	・医療機関や介護事業者等における感染症防止用品の備蓄体制拡充を図るための支援として、マスク等を購入し市内医療機関、介護事業所に配布することにより、市内医療機関等における感染症防止対策を支援することができた。 (サージカルマスク、消毒液、N95マスク、防護服、フェイスシールド、ゴーグル等 5,025千円) ・新型コロナウイルスの感染拡大防止及びいわゆる第2波、第3波等が到来した際に迅速な対策を実施するため、特にクラスター防止対策の必要性が高いと考えられる市内医療機関及び介護事業所に対して自動起動ラジオを配付し、感染拡大防止等に資する情報発信手段の充実を図った。 (医療機関及び介護施設への自動起動FMラジオ設置 787千円) 需用費：5,025千円、備品購入費：787千円
6	3/31	くらし支援課	公共施設等の管理維持体制持続化事業	12,867	0	12,867	0	指定管理施設の感染症拡大防止対策として、指定管理施設の11施設、コミュニティセンター12施設が今後貸館業務等を継続する上で必要な消毒用消耗品等の配付や、指定管理施設における感染リスクを低減するため、水道蛇口をレバー式に交換するとともに、トイレの水を流す際に発生する飛沫・エアロゾル感染防止のため、蓋つきの洋式トイレに改修することにより、感染拡大を防ぐことができた。 需用費：12,641千円、役務費：4千円、備品購入費：222千円
7	3/30	財政課 ・ 滝川市立病院	病院事業会計繰出金	89,374	0	89,374	0	市立病院における感染対策の実施に係る経費を病院事業会計へ繰出した。 繰出金：89,374千円
			感染症に特化した医療資材の整備	2,245	0	2,245	0	市立病院内の感染防止対策に必要な医療資材の整備することにより、感染拡大を防ぐことができた。 (非接触型体温計、パーテーション、車椅子アイソレータ、感染病室用ナースコール端末、殺菌消毒剤等)
			オンライン授業環境の構築	521	0	521	0	市立高等看護学院の授業をインターネット回線を利用してより快適な環境で受講できる仕組みを構築し、オンライン授業を実施したことで、学院内での感染拡大を防ぐことができた。 (ネット回線(3回線)設置費、利用料、オンライン会議システム、既存PCのオンライン授業対応)
			医療資材の計画的備蓄	10,143	0	10,143	0	医療資材が入手困難な状況となった場合に備えて、3か月程度の計画的な備蓄をすることで、感染の拡大に備えることができた。 (サージカルマスク、N95マスク、フェイスシールド、手袋、アルコール消毒、エプロン等)

番号	事業完了日	部 署	事 業 名		実績				事業概要
					a 事業費	b 特 財	c 地方創生臨時 交付金 (充当額)	d 一財 a-b-c	
				バイオハザード対策用安全キャビネットの整備	1,133	0	1,133	0	新型コロナウイルス感染の恐れがある患者から採取したＰＣＲ検査用検体以外の検体を検査する作業を行う際に、ウイルスを外に漏らさない構造の卓上キャビネットを整備することにより、感染拡大を防ぐことができた。
				新型コロナウイルス感染症防疫手当	22,447	0	22,447	0	新型コロナウイルス感染症の疑い患者や感染患者の入院対応にあたる医療職員への防疫手当（令和２年２月・３月遡及分）を支給することにより、対応する職員を支援できた。 対象者：外来担当医師・看護師、入院担当医師・看護師、発熱トリアージ担当職員 医療従事者（@3,000円/4,000円） 発熱トリアージ（@3,000円）
				新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム導入	1,169	0	1,169	0	新型コロナウイルス感染症の疑い患者や感染患者の情報を国に報告するためのシステムを導入し、新型コロナウイルス感染者等の情報を電子的に入力、一元的に管理し医療機関・保健所・都道府県・市町村等の関係者間で共有することにより、感染症に対し迅速な対応を行うことができた。 （専用端末×６台（管理用端末１台を含む）、通信契約料３回線、通信利用料３回線等）
				サーモグラフィの導入	4,840	0	4,840	0	入館時に新型コロナウイルス等感染疑い患者を把握し、院内感染を未然に防止するため、来院者の体温を測定する機器を導入することにより、感染拡大を防ぐことができた。 （正面玄関用１台、夜間休日玄関用１台、職員玄関用４台等）
				感染症に特化した医療資材の整備（追加）	5,392	0	5,392	0	院内感染防止のために不足していた医療資材を整備することにより、感染拡大を防ぐことができた。 （飛沫防止用アクリル板、簡易パーテーション、殺菌消毒剤、アルコール耐性カードキー等）
				電話診療整備事業	1,306	0	1,306	0	電話診療を実施するための電話回線を増設することにより、感染拡大を防ぐことができた。 （回線工事費、回線利用料、電話機購入等）
				新型コロナウイルス感染症対策	40,178	0	40,178	0	市立病院で以下の事業を実施し、感染拡大を防ぐことができた。（事業費の一部に臨時交付金を活用） ①医療情報システムの拡充（AI問診システム導入7,098千円、患者呼び出しシステム導入28,384千円、院内ネットワーク拡充22,000千円） ②紫外線照射装置導入8,778千円 ③HEPAフィルター式空気清浄装置導入5,445千円 ④高等看護学院遠隔授業環境の構築（遠隔授業に対応する端末購入4,640千円、ネットワークカメラ購入261千円）
8	12/21	産業振興課	滝川市事業者応援給付金給付事業		15,851	0	15,843	8	新型コロナウイルス感染症の影響によって経営の安定に支障が生じている事業者を支援するため、事業者に給付金を給付することにより、事業継続の支援をすることができた。給付金にあっては、滝川市内で事業を営む法人及び個人事業者のうち、2020年１月から申請日前月までのいずれかの月において、売り上げが前年同月比30％以上50％未満減少した事業者を対象とし、１事業者あたり10万円を給付した。事業期間(申請期間)は7月～9月までとし、226件が申請、124件が交付決定となった。 給付金：12,400千円（100千円×124件）、委託料（システム導入）：968千円、その他事務費：2,483千円（報酬1,039千円、職員手当等700千円、共済費8千円、旅費12千円、需用費332千円、役務費370千円、使用料及び賃借料22千円）
9	6/30	産業振興課	休業要請協力金給付事業		600	0	600	0	緊急事態宣言に伴う北海道の休業要請の対象施設ではないが、GW期間中に札幌圏から観光客の流入が考えられる施設（道の駅たきかわ、池の前水上公園キャンプ場）に滝川市が独自に休業要請を行ったことに伴い、協力金を交付することにより、感染拡大を防ぐことができた。 協力金：600千円（300千円×２事業者）
10	6/2	企画課	國學院大學北海道短期大学部支援事業		798	0	0	798	■予備費にて対応 自粛生活による影響を受けている國學院大學北海道短期大学部学生に対し、滝川産米５ｋｇを配付したことにより、生活支援をすることができた。 需用費：798千円（1,690円×472人）
11	6/22	学校運営課	小中学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業		501	0	0	501	■予備費にて対応 義務教育学校の臨時休業に伴い、家庭学習に必要な教材や配布物などを各世帯へ郵送することにより、対面による感染症リスクを下げることができた。 役務費：501千円
12	3/31	西高事務局	高等学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業		160	0	0	160	■予備費にて対応 臨時休業に伴い、家庭学習に必要な教材や配布物などを各世帯へ郵送することにより、対面による感染症リスクを下げるができた。 役務費：160千円

番号	事業完了日	部 署	事 業 名	実績				事業概要
				a 事業費	b 特 財	c 地方創生臨時 交付金 (充当額)	d 一財 a-b-c	
13	9/18	企画課	滝川市地域公共交通事業継続等支援事業	12,080	0	12,080	0	コロナ禍においても市民の生活の足を守るために地域公共交通を運行する事業者へ支援金を支給することにより、事業継続を支援することができた。 路線バス 基本額200千円／1事業者 加算額100千円／1台 タクシー 基本額200千円／1事業者 加算額50千円／1台 そ の 他 基本額100千円／1事業者 加算額（貸切20千円／1台・代行10千円／1台） 支援金：12,080千円
14	3/31	総務課 情報推進係	テレワーク等トライアル環境整備事業	617	0	617	0	在宅勤務など多様な働き方の実現、出張や外勤時の直行直帰やすき間時間の活用による生産性向上、育児・介護と仕事の両立や時短勤務などワークライフバランスの向上をめざし、テレワーク等トライアル環境を整備することにより、感染拡大を防ぐことができた。また、本稼働に向けた検証を行った。 ・ルーター購入費 59千円 ・回線利用料 63千円 ・環境構築経費 495千円 役務費：63千円、委託料：495千円、備品購入費：59千円
15	3/31	財政課	滝川市立高等看護学院建替事業	73,304	72,600	0	704	滝川市立高等看護学院は、教室及び実習室などが手狭で密状態にあるとともに、窓を開けられるところと開けられないところがあって換気状態が悪いなど、施設上の大きな課題がある。既存建物ではソーシャルディスタンスなどによる対策を講じると、現在の1学年25人を12人に抑制するしか方法はなく、卒業生の多くが滝川市立病院の看護師として働きはじめることで看護師確保ができていることから、受入れ人数が減少すると看護師の確保人数も減ることが避けられない。感染予防対策を実施しても、受入れ人数を減らすことがないように、滝川市立高等看護学院の建て替えを実施することにより、感染拡大を防ぐことができ、医療体制の確保にもつながった。 事業期間：令和2年度～令和3年度 令和2年度実施分：73,304千円（解体実施設計19,250千円、解体53,570千円、境界標設置測量調査484千円）
16	12/24	財政課	新型コロナウイルス感染症防止追加対策事業	2,420	0	2,420	0	長期化している新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、飛沫感染を防止するためのアクリルパネル111台を購入することにより、感染拡大を防ぐことができた。 備品購入費：2,420千円
17	11/20	子育て応援課	児童福祉施設等職員慰労金給付事業	14,031	0	14,031	0	感染症対策を徹底しつつも「密」を避けることが困難な児童福祉施設において、感染への不安を感じながらも保育等のサービスの提供を継続している職員に対し、1人あたり5万円の慰労金を給付したことにより、対応する職員を支援できた。 慰労金：14,000千円（50千円×280人）、事務費：31千円（役務費）
18	2/1	子育て応援課	児童福祉施設等における感染症予防対策事業	236	0	236	0	児童福祉施設等における感染症予防対策を目的として、手洗い場等における蛇口を給水栓に直接手指で触れることが少なく、肘でも操作できるレバー式に交換したことにより、感染拡大を防ぐことができた。（中央保育所36カ所、学童クラブ68カ所） 需用費：236千円
19	3/31	健康づくり課	滝川市新生児特別定額給付金給付事業	20,061	0	17,631	2,430	国の特別定額給付金の支給基準日（令和2年4月28日）以降に出生し滝川市に住民登録された子の世帯主に対し、子ども1人あたり10万円を給付したことにより、生活支援をすることができた。 給付金：20,000千円（100千円×200人）、事務費：61千円（需用費9千円、役務費52千円）
20	3/11	健康づくり課	滝川市保健センター改修事業	9,812	0	9,812	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「新しい生活様式」としてマスクの着用が求められるなか、乳幼児や妊婦、高齢者など、特に熱中症の発症に注意が必要な方の利用が多い保健センターにおいて熱中症予防対策と感染拡大防止対策を両立させるため、空調設備を設置した。併せて、よだれや嘔吐などによる感染対策として、乳幼児検診等で利用する2階健康相談室に簡易に取り外して、清掃・消毒ができるタイルカーペットを設置し衛生管理を徹底したことにより、感染拡大を防ぐことができた。 工事請負費：9,812千円（空調設備設置8,712千円、タイルカーペット設置1,100千円）

番号	事業完了日	部 署	事 業 名	実績				事業概要
				a 事業費	b 特 財	c 地方創生臨時 交付金 (充当額)	d 一財 a-b-c	
21	3/31	産業振興課	滝川市生活応援プレミアム商品券発行事業	397,005	205,703	191,302		新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、家計収入の減少等の影響を受けている市民の生活を支援するとともに、新しい生活様式に対応したライフスタイルを確立するための物資購入等に充ててもらうため、市内の登録店舗で使用可能なプレミアム商品券を発行・販売した。また、新型コロナウイルスの感染拡大によって影響を受けている事業者の売上向上にもつながることから、事業者への側面的な支援策として、市内経済の活性化も併せて狙いとしたことにより、生活支援と事業継続支援を同時に行うことができた。 1セット1万円（1千円×10枚）の商品券を5千円で販売（プレミアム分5千円）、令和2年8月7日時点で滝川市に住民登録のある世帯主が対象（対象世帯21,324世帯）、1世帯当たり2セットまで購入可能。 販売セット数：38,411セット 滝川市生活応援プレミアム商品券発行事業補助金：391,684千円、事務費：5,321千円（報酬134千円、職員手当等873千円、需用費481千円、役務費1,570千円、委託料2,263千円） （特定財源）販売収入192,055千円、道補助金（プレミアム付商品券発行支援事業費補助金）13,648千円
22	3/18	観光国際課	滝川市宿泊事業者応援事業 「たきかわ泊まってエール！」キャンペーン	7,527	0	7,527		新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ市内の宿泊施設等の支援並びに経済活動の再開や各種観光キャンペーンのスタートにあたり、感染症対策のサポートとして支援金を交付した。さらに観光関連産業のアフターコロナ期へ向けた需要喚起を図るため、クーポン券の発行及び特産品プレゼントを行う「たきかわ泊まってエールキャンペーン」を実施した。 キャンペーンについては、北海道内57市町村から延べ1,965名の利用があった。配布したクーポン券の利用率は98.59%となり、宿泊施設に2,744千円、飲食店等のその他事業者に904千円、合計3,648千円の経済効果があった。特産品プレゼントは当選者がSNSで賞品を投稿、紹介してくれたケースもあり、2次的なPRにもつながった。 宿泊事業者支援金：2,360千円（市内計5事業者へ、施設の保有室数に応じた支援金を交付）、宿泊事業者応援事業補助金：5,167千円（クーポン券換金3,643千円、特産品購入601千円、消耗品購入85千円、特産品送料136千円、PR用チラシ及びクーポン券印刷269千円、旅行情報誌掲載費363千円、HP更新等手数料70千円）
23	1/7	滝川地区広域消防事務組合	滝川地区広域消防組合負担金 (救急資機材等整備事業)	16,394	0	16,394		滝川地区広域消防事務組合における感染対策の実施に係る負担金を支出したことにより、感染拡大を防ぐことができた。 ・新型コロナウイルス感染症が疑われる傷病者に対する消防隊及び救急隊の出動に必要な環境整備のための消耗品や備品等（マスク、グローブ、除菌機械等）、受付対応業務等の飛沫感染防止用アクリル板を購入した。 ・感染防止用品（感染防止衣、ツナギ、キャップ、吸引器、グローブ、N95マスク等）、消毒用品（次亜塩素酸ナトリウム、ピューラックス、アルコール用品等）、感染防止用備品（空間除菌空気清浄機、オゾン発生装置、手指消毒用器材（脚付足踏式）、空気呼吸器面体等）を購入した。 滝川地区広域消防事務組合負担金：16,394千円
24	3/31	学校運営課	公立学校情報機器購入事業	103,137	3,211	99,926	0	
			公立学校情報機器購入	96,705	0	96,705	0	GIGAスクール構想の加速による学びの保障として、児童生徒1人につき1台のタブレット端末を配置するため、タブレット端末2,752台を購入したことにより、対面による感染リスクを抑えることができた。（文部科学省の補助金（定額補助・45千円/台）を活用して3人に2台分を購入。3人に1台分の購入と国の定額補助の上乗せを市単独事業として実施。） 備品購入費：96,705千円（端末購入費総額176,265千円 － 国庫補助金79,560千円 ＝ 市単独事業96,705千円）
			遠隔学習機能強化	360	175	185	0	感染症等の影響による臨時休業時の遠隔学習の実施や人の密集を避けた形で授業・集会・会議等を開催できるよう、マイク内臓型のWEBカメラを各小中学校に導入したことにより、対面による感染リスクを抑えることができた。 需用費：360千円（9,020円×40台） （特定財源）公立学校情報機器整備補助金
			GIGAスクールサポーター配置	6,072	3,036	3,036	0	GIGAスクール構想1人1台端末の導入に向けた準備作業や導入後の障害一次対応のほか、ICT利活用を推進するための手順書や研修資料を作成するため、ICT及び学校教育の専門的知識を有する事業者へ業務委託した。これにより1人1台端末の活用が進み、学校における感染リスクを抑えることができた。 GIGAスクールサポーター委託料：6,072千円 （特定財源）公立学校情報機器整備補助金
25	3/10	学校運営課	家庭学習のための通信機器整備支援事業	96	0	96	0	GIGAスクール構想の加速による学びの保障として、Wi-Fi環境のない家庭へ貸出するためのルーターを購入したことにより、対面による感染リスクを抑えることができた。（文部科学省の補助金（定額補助・10千円/台）を上回る費用に地方創生臨時交付金を充てて購入。） 備品購入費：96千円（上乗せ単価670円×143台）

番号	事業完了日	部 署	事 業 名	実績				事業概要
				a 事業費	b 特 財	c 地方創生臨時 交付金 (充当額)	d 一財 a-b-c	
26	1/22	学校運営課	小中学校における感染症予防対策事業	145	0	145	0	小中学校における感染症予防対策を目的として、手洗い場等における蛇口を給水栓に直接手指で触れることが少なく、肘でも操作できるレバー式に交換したことにより、感染拡大を防ぐことができた。 (滝川第一小学校、滝川第二小学校、西小学校、江部乙小学校、東小学校、江陵中学校、江部乙中学校) 需用費：145千円
27	3/31	学校運営課	小中学校調理場空調設備設置事業	13,227	0	13,227	0	児童生徒の学習機会を確保するため令和2年度の夏季休業を短縮したが、当該期間の空調設備がない調理場は高温多湿となることから、通常給食の提供を控え全校午後の授業を取りやめた。今後の感染症拡大による夏季休業期間中の授業実施に備え、学校給食提供に係る空調整備を行うことにより、感染症に対応した学校環境の整備をすることができた。 工事請負費：13,227千円（滝川第二小学校3,503千円、江部乙小学校3,179千円、東小学校3,322千円、江陵中学校3,223千円）
28	9/10	社会教育課	指定管理施設管理運営安定化支援事業	13,504	0	13,504	0	北海道からの休業要請等による休館及び大会や公演等の中止により利用料収入が大幅に減少した指定管理受託事業者へ減収率に応じた支援金を交付することにより、事業継続を支援することができた。 支援金13,504千円（文化センター8,283千円、音楽公民館1,245千円、スポーツセンター等2,554千円、石狩川河川敷パークゴルフ場1,422千円）
29	10/30	産業振興課	滝川市タクシー・飲食店連携宅配サポート事業	808	0	808	0	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少している市内タクシー事業者と市内飲食店が連携し、宅配サービスを行うシステムを構築。宅配1回につき配送料千円を補助金としてタクシー事業者へ交付したことにより、事業継続の支援をすることができた。 登録店舗数：25店、タクシー事業者：4社、配送回数：568回 滝川市タクシー・飲食店連携宅配サポート事業補助金：568千円（1千円×568回）、事務費：240千円（需用費171千円、役務費69千円）
30	10/30	くらし支援課	鳥獣被害防止対策事業	1,155	0	1,155	0	市内で熊の目撃情報が増え、農作物や人への被害の危険性が高まっている。コロナ禍で農業者等の収入が減っているなか、有害鳥獣による農作物被害が発生し農業者等の収入がこれ以上減少することのないよう、野生動物撃退装置を2台購入・設置したことで、農作物被害を防止するとともに、農業者等の収入減少を防ぐことができた。 備品購入費：1,155千円
31	3/31	健康づくり課	滝川市インフルエンザ予防接種助成事業	4,555	0	4,527	28	季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症を臨牀的に鑑別することが困難であることが専門家から指摘されており、国も次のインフルエンザ流行に備え、高齢者や妊婦、小児へのインフルエンザワクチン接種を強く推奨していたことから、従来から実施している高齢者への助成に加えて、子どもと妊婦のインフルエンザワクチン接種費用を半額助成したことにより、接種の推進につながった。 接種延人数 2,825人 役務費（市立病院への接種費用支払）：875千円、委託料（市立病院以外の医療機関への接種費用支払）：3,230千円、扶助費（償還払い）：450千円
32	3/31	総務課 防災危機対策室	避難所の新型コロナウイルス感染症対策用資機材購入事業	17,772	0	17,772	0	避難所施設における新型コロナウイルス感染症対策（三密対策等）を講じるための資材を購入したことにより、感染防止につながった。 (セルフ体温計×10台、ナイロン製パーティション×612張、段ボールパーティション×374室、屋外設置用テント×30台、工場扇×90台、段ボールベット×254台、6畳敷きマット×450セット等) 需用費：4,700千円、備品購入費：13,072千円
33	3/11	滝川西高等学校	学校保健特別対策事業費補助金 (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業)	6,358	2,000	4,358	0	新型コロナウイルス感染症対策として、ソーシャルディスタンスを保つためにパソコン教室以外の教室でもインターネットを活用した授業や学習に取り組むことができる環境を整えるとともに、遠隔授業等に参加できない生徒へのサポート機器としても活用するため、タブレット端末（通信機能付）41台を購入したことにより、対面による感染リスクを抑えることができた。 備品購入費：6,358千円 (特定財源) 学校保健特別対策事業費補助金（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業）
34	3/19	学校運営課	学校保健特別対策事業費補助金 (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業)	24,603	12,257	12,346	0	学校保健特別対策事業費補助金（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業）を活用して、各小中学校が必要なコロナ対策を実施。段階的な学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習保障をするための新たな試みを実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援したことにより、感染防止につながった。 需用費：5,297千円、役務費：216千円、備品購入費：19,090千円 (滝川第一小1,993千円、滝川第二小3,000千円、滝川第三小2,998千円、西小1,949千円、江部乙小2,000千円、東小3,005千円、江陵中3,000千円、明苑中2,966千円、開西中1,952千円、江部乙中1,740千円) (特定財源) 学校保健特別対策事業費補助金（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業）

番号	事業完了日	部 署	事 業 名	実績				事業概要
				a 事業費	b 特 財	c 地方創生臨時 交付金 (充当額)	d 一財 a-b-c	
35	3/31	企画課 広報広聴係	新型コロナウイルス感染防止啓発事業	869	0	869	0	新型コロナウイルス感染症対策に関する情報提供や、感染者及びその家族、関係者などに対する差別や偏見などの防止啓発を目的に、12月から3月末まで地域のFMラジオ放送や地元新聞紙への掲載を通じて広く市民に情報を発信したことにより、感染症に関する情報を周知できた。 委託料：869千円（新型コロナウイルス感染防止啓発CM制作料22千円（5千円×4件×1.1）、新型コロナウイルス感染防止啓発CM放送料363千円（82.5千円×4件×1.1）、新型コロナウイルス感染防止啓発番組放送料264千円（66千円×4件）、新型コロナウイルス感染防止対策啓発紙面掲載委託料220千円（55千円×4件））
36	2/8	産業振興課	飲食店感染拡大防止対策向上事業	20,630	0	20,630	0	年末年始の飲食シーズンを迎える一方、全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、滝川市内においても外食産業に客足が遠のいている現状を鑑み、市内6団体が実施する新北海道スタイルの徹底による「感染拡大防止対策向上事業」に対し、補助金を交付したことにより、団体の実施する感染拡大防止対策を支援することができた。 補助額にあっては、団体が実施する事業の1つである、感染予防対策支援金（1事業者につき10万円）を補助対象とするほか、啓発活動に必要な事務費を対象経費として計上。実施期間は、2020年12月16日から2021年1月31日とし、補助交付団体は、滝川商工会議所、江部乙商工会、(社)たきかわ観光協会、滝川市飲食店組合、北海道観光社交事業協会空知地区滝川支部、三楽街振興会の6団体。なお、支援金の対象となった事業者は、204事業者。 支援金：20,630千円
37	3/19	選挙管理委員会事務局	投開票所における新型コロナウイルス感染症予防対策事業	7,041	0	7,041	0	選挙事務の新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、投票所における接触機会を減らすための備品や消耗品、開票事務の3密を回避し少人数での開票作業を可能とする備品を整備したことにより、感染拡大防止につながった。 需用費：386千円（フェイスシールド、アイガード、マスク、使い捨て鉛筆、除菌用アルコール、ニトリル及びプラスチック手袋、吸着シート等） 備品購入費：6,655千円（投票用紙自動交付機15台（4,125千円）、投票用紙読取分類天地表裏反転ユニット2台（2,200千円）、非接触型体温計25個（330千円））
38	3/23	教育総務課	修学旅行等の中止又は延期に伴うキャンセル料等補助事業	315	0	315	0	市内小・中学校の学校長が新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、修学旅行等を中止し、又は延期した場合に生ずる費用に対して補助金を交付したことにより、感染リスクを抑えることができた。対象費用は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対策として、修学旅行等が中止又は延期した場合に生じる費用（児童又は生徒の保護者が負担するもの）のうち、次に掲げるものの。 (1)修学旅行等の延期に伴う交通費、宿泊費等の追加料金 (2)修学旅行等の中止に伴うキャンセル料 (3)その他市長が必要と認める費用 補助金：315千円 【内訳】 ●滝川第三小学校 ※修学旅行延期（期日・行き先変更）に伴い、追加費用発生。 [旅行企画料金] 300円×59名＝17,700円 ●江陵中学校 ※道の警戒ステージの引上げに伴い、宿泊研修間近で1泊2日の行程を日帰り行程に変更したため、取消料発生。 [取消料] 宿泊料：（3,500円×2名）＋（3,000円×61名）＋（2,500円×49名）＝312,500円…A 食事料：1,000円×112名＝112,000円…B、食事料：800円×112名＝ 89,600円…C ツインルーム利用料（救護室用）：5,000円…D、大会議室利用料：13,200円…E （519,100円（A＋B＋C＋D）×50%＋13,200円（E）×80%）×10%（消費税）＝297,121円
39	3/16	福祉課	社会福祉協議会事業安定化支援事業	1,400	0	1,400	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、実行委員会を組織し実施していた各種寄附金造成事業が中止となり寄附金等が大幅に減少したこと等に伴い、社会福祉協議会が実施する各種社会福祉事業の実施が困難となり、成年後見支援やボランティア活動支援、歳末たすけあい見舞金等の低所得者層への支援などに支障をきたすことが見込まれたことから、各種社会福祉事業の継続のための支援を行うことを目的とした支援金を給付したことにより、事業の継続支援につながった。 支援金：1,400千円
40	2/22	学校運営課	令和3年度入学に伴う学習等への支援事業	52	0	52	0	翌年度に小学校へ入学する児童及び保護者を対象に、例年各学校において説明会を実施しているが、滝川市内の感染状況を勘案し、3密回避が困難な学校で中止する決定をしたことから、入学に必要な配布物などを各世帯へ郵送し、感染拡大リスクを抑えることができた。 郵送料：52千円（210円×247世帯）
41	3/31	農政課	営農継続支援事業	7,335	0	7,335	0	コロナ禍においても営農を継続できるよう、コロナの影響で単価が下落した農作物（花き・たまねぎ）の作付維持を支援するため、令和2年度作付面積あたりの定額補助（花き150千円/10a、たまねぎ15千円/10a）を行ったことにより、事業継続支援につながった。 補助金：7,335千円（花き作付者7人（67.41a）1,010千円、たまねぎ作付者5人（4,218.20a）6,325千円）

番号	事業完了日	部 署	事 業 名	実績				事業概要
				a 事業費	b 特 財	c 地方創生臨時 交付金 (充当額)	d 一財 a-b-c	
42	繰越	財政課	滝川市立高等看護学院建替事業	788,071	748,000	40,000	71	滝川市立高等看護学院は、教室及び実習室などが手狭で密状態にあるとともに、窓を開けられるところと開けられないところがあって換気状態が悪いなど、施設上の大きな課題がある。既存建物ではソーシャルディスタンスなどによる対策を講じると、現在の1学年25人を12人に抑制するしか方法はなく、卒業生の多くが滝川市立病院の看護師として働きはじめることで看護師確保ができていることから、受入れ人数が減少すると看護師の確保人数も減ることが避けられない。感染予防対策を実施しても、受入れ人数を減らすことがないように、滝川市立高等看護学院の建て替えを実施する。 事業期間：令和2年度～令和3年度 令和3年度実施分：新築工事753,071千円、備品購入35,000千円
43	繰越	産業振興課	池の前水上公園キャンプ場トイレ等増設工事	15,092	0	15,092	0	令和2年度にオープンした池の前水上公園キャンプ場は、近年のキャンプブームに加え、新型コロナウイルス感染症の影響下において、屋外において密を避けたレジャーとして注目を集め、多くの利用客が来場した。令和3年度からはペット同伴やデイキャンプ利用が可能となり、今後も利用客は増加することが見込まれることから、利用客増加に伴うシンクやトイレの混雑を緩和し、利用客同士の接近機会を減らす対策をとった運営ができるよう、トイレ及びシンクを増設する。 工事請負費：15,092千円（トイレ設置工事8,602千円、電気給排水工事6,490千円）
44	繰越	農政課	総合交流ターミナルたきかわ（道の駅たきかわ）空調設備等改修工事	10,175	0	10,175	0	①冷暖房設備改修 公共空間における感染機会を削減するため換気を徹底しているが、外気温の影響により施設内の温度が大きく変動し利用環境が悪化しており、既存の設備の性能では温度調節が困難となっているため、対応が可能な設備に更新する。 ②トイレ手洗い場改修 年間50万人を超える不特定多数のトイレ利用により利用者及び清掃スタッフの感染リスクが高まっているため、次亜塩素酸からなる除菌水を出すことが可能な設備に更新 工事請負費：10,175千円
45	繰越	くらし支援課	コミュニティセンタータイルカーペット貼替事業	15,785	0	15,785	0	コミュニティセンターの感染症拡大防止対策として、消毒作業を実施しやすい抗菌タイプのタイルカーペットに変更する。 工事請負費：15,785千円（本町コミュニティセンター、中地区コミュニティセンター、東地区コミュニティセンター、東滝川転作研修センター、北地区コミュニティセンター、三世代交流センター北地区分館、西地区コミュニティセンター、緑地区コミュニティセンター）
46	繰越	学校運営課	小中学校網戸設置事業	15,719	0	15,719	0	市内小中学校において、害虫等の侵入を防ぎ、安全な環境で十分な換気を行えるよう網戸を設置する。 滝川市内小中学校網戸設置工事：15,719千円（小学校5校8,525千円、中学校4校7,194千円）
47	繰越	学校運営課	小中学校タイルカーペット貼替事業	26,510	0	26,510	0	小中学校における衛生管理を徹底するため、既存のカーペットを抗菌タイプのタイルカーペットに貼り替える。 滝川市内小中学校カーペット貼替工事：26,510千円（小学校4校14,740千円、中学校2校11,770千円）

合計	実 績			
	a 事業費	b 特 財	c 地方創生臨時交付金 (充当額)	d 一財 a-b-c
	1,841,238	1,050,902	776,569	13,767

※合計のうち、R2年度執行額 969,886 302,902 653,288 13,696

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金限度額	
1次交付金限度額	204,821
2次交付金限度額	549,329
3次 国庫補助事業分	22,419
合 計	776,569